

human

No231

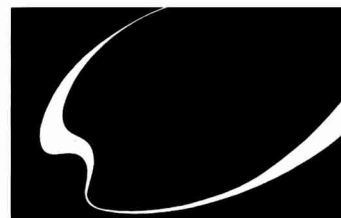
2011/7

医療を通じて人と人とのふれあいを広めるために
ヒューマン(人)と名付けました。



「太郎と花子 水連」

救急指定・労災指定病院	さくら総合病院	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129 (0587)95-6711(代)
老人保健施設	さくら荘	愛知県丹羽郡大口町新宮1-96 (0587)95-6722
訪問看護ステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8623
ヘルパーステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8026
居宅介護支援事業所	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8027
デイケアセンター	御 嶽	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院2F) (080)5294-5728
有料老人ホーム	太郎と花子	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10 (0587)95-0111



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail: info@ijinkai.or.jp

一人でも多くの人を家族のもとへ

院長 小林勝正

三月十一日に発生した東日本大震災の犠牲者は未曾有の多数にのぼり、一、三百人の遺体が海岸に打ち寄せられたとも報道された。そしてこれらの検分の連絡が法医学会より入った。全国の大学よりこの死体検案に協力すべく手が上がった。中部地区を担当する新潟大学・山内教授からのメールが四月二十日に私の元へ入った。福島県南相馬への出張依頼であった。若い医師は、宮城・岩手への出向に抵抗は無いが、さすがに福島は放射能の問題があり、ためらう医師もいるそうだ。十年後の発がんを私のような老年の医師は心配する必要がない。山内教授も同じことを言っ

て高らかに笑われた。

四月十八日に、東北新幹

線が福島まで再開通していたので、なんとか東北新幹線福島駅までドクターカーを移動し、そこから自走する予定とした。ガソリン不足がいわれていた時期であり、燃料タンク六十リットル分を用意すると共に現地での寝泊りの用意を考えた。

ところが、その後の情報収集で、福島県警が全て移動については手配をしてくれるとのことであった。寝泊りについてもビジネスホテルが営業を再開しており、警察からの手配により確保されているという。十六年前の神戸の震災の時には、震災直後であったので、道中、警察より「命の保証はしません。」と云われた。避難所で被災者と共に寝起きをし、夜中まで急病者

の為に働いた。今回の状況は相当異なると判断された為、警察車輛と共に緊急車輛のドクターカーで走行すると提案したが、放射能汚染区域を避けて走行するため、警察車輛での移動をしてほしいとの話になった。

東北新幹線福島駅で降りて、教えられたとおり駅前交番に立ち寄り、同道する神戸大学の上野教授を待った。三十分もしないうちに、上野教授と共に警察官の運転で南相馬へ向かった。一時間半から二時間の所要時間という。一時間ほど走ったところで道標に「飯館村」とでていた。かの放射線汚染区域である飯館村である。地震の被害もな

く、もちろん内陸であるために津波の被害も全く無

い静かな農村であり、あたかも美濃辺りの農村を走っている感じである。こんな静かな村が放射能汚染を受けているのかと納得がいかなかった。ビジネスホテルに一泊し、次の日より仕事が始まった。相馬と南相馬に二チームで分かれ出向した。

相馬の会場は、巨大な工場跡地で遺体安置所の北側が検案所となっていた。同時に十体以上の遺体を検案できるようなスペースがあり、検死官と警察官数名が一チームとなっていた。茨城県・群馬県などから救援の警察官が入り、福島県警をサポートする体制が出来ていた。この会場には、相馬と双葉署との二箇所から遺体が搬送されてくる。距離的なことからい

ば、福島第一原発周辺の検案遺体は南相馬で行うのが妥当だと考えられる。ところが、南相馬は原発から二十五キロしか離れていない計画的避難区域には

いる。すなわち、原発で何かが起きた場合には、直ちに全機能を相馬に移す必要がある為、あらかじめ不便でも相馬で行うとのことであった。そのため、原発周辺の大熊町、双葉町、浪江町で発見される全ての遺体が相馬に運ばれていた。しかも、放射能レベルの高い立ち入り禁止区域から発見された遺体の為、除染を行い、翌日に搬送されるという段取りであった。私が行った検案の遺体は、多くは浪江町から発見されたものであった。中には、中学校の運動着を着た子供共にもあつたが、家族も共に亡くなっている危険性があり、DNA鑑定にまわされた。この事実が今回の震災の凄まじさを物語るものである。

立ち入り禁止区域に入つて遺体捜索を行うのは、陸上自衛隊と警視庁からの派遣要員であつた。特に陸上自衛隊は、こうした災害の折に最も早く、最も危険区域に入る空挺団が担当していた。彼らは、中越地震の折も、御巢鷹山の墜落事件の折も、真っ先に現地に向いた部隊である。そうした屈強な部隊が津波に埋もれた遺体を発見し、背中に負つて出てくるのである。誰も文句を言わない。誰も弱音を吐かない。一日も早く、一人でも多く、家族の元に帰したいという気持ちのみが、こうした行動を支えるのである。そうした気持ちで検案開始の時には、全員で黙祷を捧げ、検案させていただいた。震災後六週間経っているにもかかわらず、福島の三月が寒かった為と津波による泥に埋もれた為、想像したよりも遺体の損傷は軽く、それだけが気休めとなつた。しかし、発見された中学生の遺体を三日経つても親が引き取りにこられないという現実が、今回の震災の酷さである。

南相馬では、警戒避難区域であることにより、スポーツセンターが検案所となつており、相馬より小規模であつた。丁度、震災から四十九日が経過した日、二十人あまりの僧侶が遺体安置所に夕刻現れ、全員が読経したので、遺体安置所は荘厳な雰囲気にも包まれた。身元不明者の個人情報をも的確に把握し、着衣・所持品の確認を行いながら少しでも個人同定出来る様、入念に記録を残した。死因は全て災害による溺死であつた。南相馬の街では人影はほとんどなく、いかにも原発に近い雰囲気であつた。放射能の被爆を受ければ脱毛する為、一帰つてきたら床屋さんへ行かなくてもよくなるね。」という家内の言葉であつたが、残念ながらそれほど被爆を受けたわけではない。南相馬を去る時、警察の指示でスクリーニング会場に立ち寄り、放射能測定をした

が、被爆線量は問題になるほどではなかった。福島への帰りも、福島県警の警察官によつて飯館村を通つて送つていただいた。津波による被災地や飯館村に咲く桜が異常に虚しい感じであつた。我々が相馬を訪れてから更に二週間後、すなわち、震災より二ヶ月後に、天皇・皇后陛下が相馬を訪れ黙祷を捧げられたという。我々が検死を行った遺体の発見された場所である。多分、両陛下とも我々と同じ想いであられたと思う。津波に襲われて、その水も退いていない瓦礫と化した市街地。老若男女を問わず犠牲になられた人達を一人でも多く家族の元へ帰したいという想いで、今日も放射線防護服を着た自衛隊や警察官が現場で苦労されていることを想うと心が痛む思いである。

1年を振り返って

メディカルアシスタント 中野 光

私は昨年の6月よりさくら総合病院に勤務しています。メディカルアシスタント(MA)という職種は聞いたこともなかったのですが、仕事内容を聞いて興味が湧き、この仕事を選びました。外来診療、情報提供書や診断書の作成、医師のスケジュール管理などある中で、さくら総合病院でしかできない仕事としてER対応があります。救急搬送された患者さんを医師が集中して診察できるように、私たちMAがカルテの代行入力を行います。それによって、リアルタイムにカルテに記録することができ、患者さんの状況をすばやく把握し、共有することができます。ですが、正しい情報を記録しなければ意味がありません。そのためには、医師の言葉をよく聞き、自分の目でも患者さんの状況を確認することが重要です。救急搬送されてくる方の中には血だらけの方や心肺停止状態の方もいます。とても緊迫した現場ですが、まずは落ち着くように心がけています。すると今どんな状況で、どんな事をしていて、次はどうするのが、だんだん見えてきます。医師や看護師のように、医療行為を行うことはありませんが、緊張感を持って正確にカルテへの記録を行っています。1年経過し、今までは自分のことで精一杯でしたが、これからはもっと周囲の事にも気が配れる様に仕事を行っていきたいと思います。例えば、外来の待合にいる患者さんには細かな声掛けを行い、待ち時間の苦痛を和らげると共に、体調の変化に気づくことができると思います。患者さんは体調が悪く来院しているので、診察までの待ち時間を少しでも楽に過ごすことができるように、気を配る事を行いたいです。まだまだ毎日勉強することばかりですが、自分の身になっていくようにしっかりと向き合って仕事をしたいと思っています。努力することを惜しまず頑張りますので、これからもよろしくお願いたします。



口腔外科 久場 良之

初めまして、本年4月からさくら総合病院歯科・口腔外科で勤務させていただいております、久場良之です。出身は沖縄県本島の沖縄市で、高校時代はサッカー部に所属しボールを追いかける日々明け暮れて、中日ドラゴンズがキャンプを行う、北谷球場近くのサンセットビーチで青春時代を過ごしました。平成21年に愛知学院大学歯学部を卒業し、1年間の研修期間を経て大学病院の顎口腔外科学講座に入局しました。そして歯科医師4年目の今年、さくら総合病院勤務となりました。

普段、我々が意識せずに口から食事を採ることは生命維持活動に重要であります。身体機能の低下したような入院患者にとっては、経口摂取が困難となることがあります。そんな入院患者を口腔内の視点から診て口腔管理に力を入れて携わっていただけることが総合病院に勤める歯科医師の重要な仕事の一つであります。そういった管理や口腔内に関する知識の院内普及など行っていただけると考えています。まだまだ未熟で周りのスタッフに力を借りる事が多々あるかと思いますが、一生懸命頑張りたいと思いますので、今後とも宜しくお願いします。

さくら総合病院に赴任して

歯科医師 勝股 奈津子

2011年4月より愛知学院大学歯学部附属病院口腔外科より、さくら総合病院に赴任してあっという間に2カ月が経ちました。現在まで、開業医と大学病院でしか勤務したことのない自分にとっては、救命救急をはじめ新しい経験が日々続き、周りのドクターやスタッフに助けられチーム医療の大切さを一番初めに改めて実感しました。歯科口腔外科において救急時間外診療も初めての経験であり、初めは戸惑うことばかりで対応がままならず、反省してばかりの毎日でした。そんな中「慌てなくてもいいから一つ一つ確実に」と言われ冷静に対応することができました。患者さんに迅速な対応、安全でかつ安心な医療と処置が提供できるようになるためには、経験と幅広い知識がいかに必要か痛感しています。忙しく、周りが見えなくなりそうな時はこの言葉を思い出し、今後も毎日の医療から学び勉強し、精進出来るよう努力していきます。また周りのスタッフに迷惑をかけることと思いますがこれから宜しくお願い致します。

★健康を守る教室からお知らせ★

毎月第4土曜日開催の『健康を守る教室』にご参加頂きありがとうございます。
5月は「すぐに役立つ食事お役立ち情報～減塩編～」と題し、普通の味・減塩の味・そしてご家庭の味を比べられるよう、実際にお味噌汁の試飲もして頂きました。



○×クイズ



どんな質問でもお受けします。



お味噌汁の試飲



皆さん真剣です

7月・文月は短冊に歌や願い事を書く七夕の行事にちなんだという説があります。
皆様は七夕にどんなお願いをされるのでしょうか。
さくら総合病院では今後も皆様の健康を願って様々なテーマで教室を開催してまいります。
どうぞお気軽にご参加ください。

第9回 「健康を守る教室」

テマ：『フットケア&正しい靴の選び方』&セラバンドを使用した体操

日時：平成23年7月23日 土曜日

13:00～14:00(受付12:30～)

場所：新館1F

講師：看護師 中村 理学療法士 磯村

参加料：無料

お問合わせ：受付窓口もしくは医療連携室

Tel 0587-95-0015



足のむくみや靴ずれ、外反母趾や水虫などをお持ちの方はみえませんか？
近年フットケアは医療的な領域においてもたいへん注目をされている分野です。
今回はそんな足のケアと正しい靴の選び方をお知らせします！



※健康を守る教室の体操コーナーでおなじみのセラバンドを健康教室終了後に下記価格で販売をいたします。
ご希望の方はお申し出下さい。 黄色(弱)400円 緑色(中)460円 青色(強)520円

～梅干の効用～

梅雨を控えて、食中毒が発生する季節となりました。
従来より梅干は、日の丸弁当など食品の防腐に役立つことが生活の知恵として知られています。

当院では、売店に塩分6%の蜂蜜漬けの梅干を入荷致しました。製品が不揃いの為、非常に安価に販売できます。ご家族の健康も考え、お試し下さい。



診療科表

平成23年7月1日現在

	午前 9:00~12:00							午後 5:00~7:30												
	外科	内科	整形外科	脳神経外科	小児科 ^{※3}	皮膚科	耳鼻科	泌尿器科	婦人科	眼科	外科	内科	整形外科	脳神経外科	小児科	皮膚科	耳鼻科	泌尿器科	婦人科	眼科
月	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
火	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
水	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
木	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
金	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
土	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ※1 休診日もございます
- ※2 第2、第4 は11:30までとなります
- ※3 小児科は、3月9日(水)より休診とさせていただきます
- 診療時間に関しては受診されます診療科目により異なります
- 不明な点がございましたら職員に確認してください
- 診療日の変更になる場合があります ご了承ください

機関紙 発行 医療法人 医仁会 電話 0587(95)6711(代)

human ヒューマン さくら総合病院 発行年月日 2011年7月1日

No.231 丹羽郡大口町新宮1-129 発行部数 350部